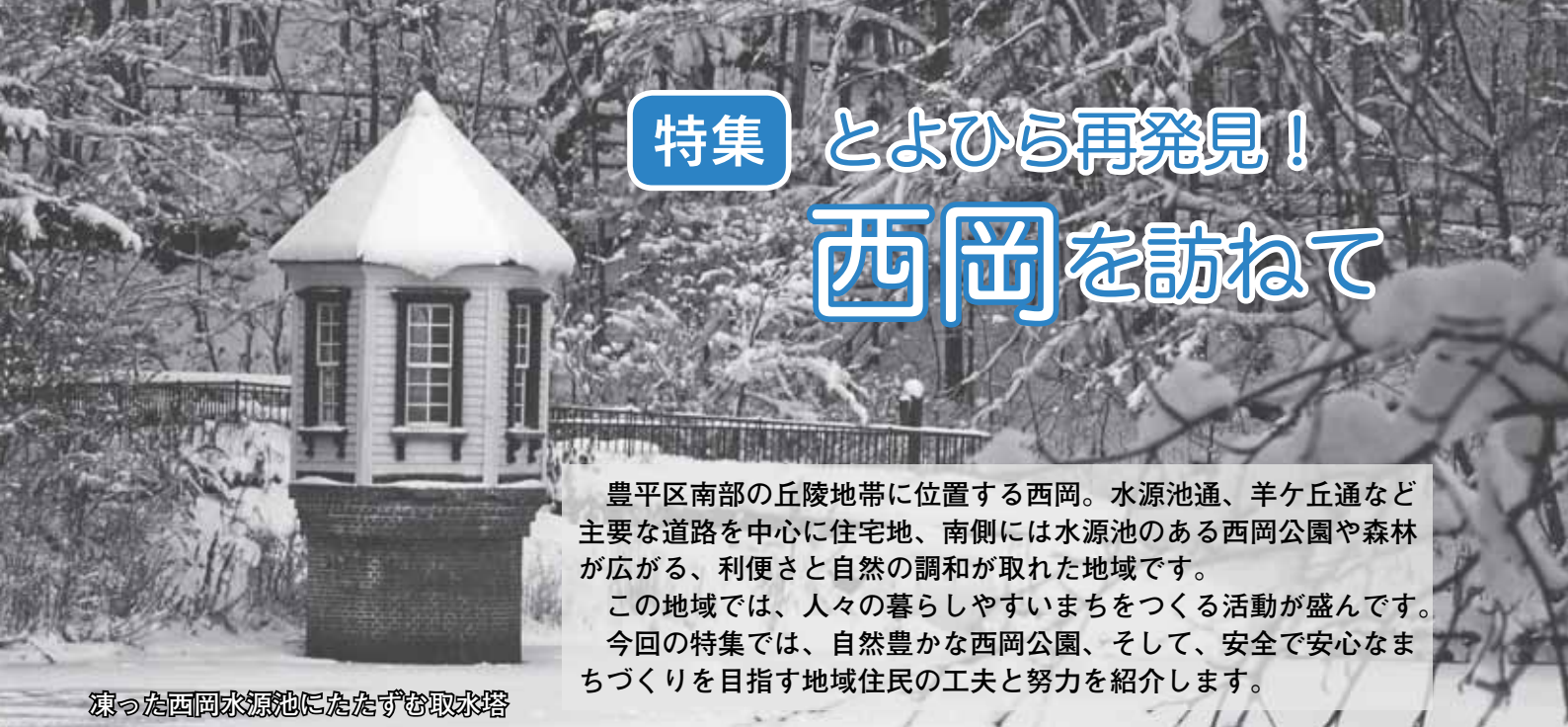


特集

とよひら再発見!

西岡を訪ねて



凍った西岡水源池にたたずむ取水塔

豊平区南部の丘陵地帯に位置する西岡。水源池通、羊ヶ丘通など主要な道路を中心に住宅地、南側には水源池のある西岡公園や森林が広がる、利便さと自然の調和が取れた地域です。

この地域では、人々の暮らしやすいまちをつくる活動が盛んです。今回の特集では、自然豊かな西岡公園、そして、安全で安心なまちづくりを目指す地域住民の工夫と努力を紹介します。

住宅街のすぐそばにある大自然

豊かな自然が広がり、四季それぞれの美しい表情を見せる西岡公園。その入口は住宅街の南の端にあり、誰でも気軽に自然を楽しむことができます。造られてから一世紀になる水源池を中心に南側には湿原が広がり、公園は、たくさんの野生の動植物のすみかとなっています。春にはミズバショウが咲き、夏にはホタルが飛び交います。生息するトンボの種類は道内で一番とされています。バードウォッチングにも絶好の場。さまざまな野鳥を見ることが出来ます。運がよければ、美しいカワセミや天然記念物のクマゲラに出会えるかもしれません。



豊かな水をたたえた水源池

散策路はもちろん、湿原には木道が整備され、自然歩道に通じています。白旗山などへ足を伸ばすことも可能。体力に合わせて森林浴やウォーキングを満喫できます。西岡公園の魅力は尽きることはありません。



公園は動植物の宝庫



自然歩道へ続く公園内の木道

西岡に水源池が造られたのは一九一〇（明治四十三）年。陸軍の歩兵第二十五連隊が月寒川の上流をせき止め、貯水池としました。ここから引かれた月寒水道は、軍の施設だけでなく周辺の市街地へも水を供給しました。第二次世界大戦後、月寒水道は豊平町に引き継がれ、札幌市と合併した後の一九七一年（昭和四十六）年まで、市民ののどを潤しました。その面影を残す取水塔は、二〇〇一（平成十三）年に、国の登録文化財となりました。昨年、奇麗に補修され、造られてから百年目の今でも人々の目を楽しませてくれます。

市民の「水がめ」だった水源池

交通案内 中央バス【澄73】「西岡水源池」下車徒歩1分。又は、【79】【83】【月82】「西岡4条14丁目」下車徒歩15分。※冬期間は、駐車場が使用できません。公共交通機関でおいしくください。